

## 研究名

### ダパグリフロジン心不全適応拡大後の使用状況調査

#### 1. 研究の対象

2020年11月27日から2021年5月26日までの間に、当院循環器内科からダパグリフロジンが処方された入院・外来患者。

#### 2. 研究目的・方法

2014年の販売以来糖尿病治療薬として用いられてきたダパグリフロジンについて2019年にDAPA-HA試験結果が公開された。そこで糖尿病合併の有無に関係なく左駆出率の低下した慢性心不全(HFrEF)患者の心不全イベントを抑制することが示され、2020年11月27日に慢性心不全に対する効能又は効果が追加承認された。2021年JCS/JHFSガイドラインによると、標準心不全治療を導入済みのHFrEFに対してダパグリフロジンを投与することとされているが、適応追加承認後間もないため、実際の使用状況について不明な点が多い。今回、当院における慢性心不全適応拡大後のダパグリフロジンについて、2020年11月27日から2021年5月26日までの間に、当院循環器内科からダパグリフロジンが処方された入院・外来患者を抽出し、使用状況や副作用発現などを調査した。

#### 3. 研究に用いる情報の種類

電子カルテ患者情報（後向き研究）

#### 4. 外部への情報の提供

研究結果は学会等で発表を予定していますが、登録された患者の個人情報個人が特定できないよう匿名化し、パスワードをかけて厳重に管理されます。

#### 5. 研究組織

研究機関名：済生会横浜市南部病院

研究責任者：薬剤部 加藤 一郎

#### 6. お問い合わせ

本研究にご質問、または臨床研究の参加を希望されない場合は下記連絡先までお問合せください。

病院代表：045-832-1111

担当者：薬剤部 川本 雛